

2024 年度入学式 祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

春の喜びあふれる今日のよき日に、皆さんを東京理科大学の新入生としてお迎えできることを大変嬉しく思います。学校法人を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんがこれまで、しっかりと研鑽を積み見事に合格を勝ち取られ、この入学式を迎えられたことに、敬意を表します。また、長い間、皆さんを温かく見守り支えられてこられた、ご家族や関係する方々にも改めてお祝いを申し上げます。

先ほど紹介がありましたように、東京理科大学は 1881 年に東京物理学講習所として創立され、7 年後の 2031 年に創立 150 周年を迎える長い歴史と伝統がある大学です。本学が創立した頃、日本は明治時代の幕開けを迎えたばかりで、大きな時代の変化に伴い、近代化を目指した社会改革が急ピッチで進められていました。当時、日本には大学が一つしかなく、国による高等教育機関の設置が切望される中、日本を代表する私立大学の前身となるいくつかの学校が、それぞれ小さな夜間学校として活動を始めています。しかし、その多くは法学を中心とした文系の学校で、理系を学ぶことができる機関は希少価値がある特別な存在でありました。

さらに本学が他の学校と異なるのは、21 名もの理学を学んだばかりの若き学徒たちが創立したことでした。彼ら創立者達は、平均年齢が 25 歳で、当時、国内唯一の大学で特別なエリート教育を受けさせてもらったことに恩義を感じるとともに、これからは科学技術が国の基盤となる故、その普及のために優れた人材を広く育てていくことが、今後の日本の成長において必須である、との強い想いで理系の専門家を育てるための学校を開校したのが東京理科大学の始まりです。

創立当初から、本学では、学生を丁寧に指導し、しっかりとした実力をつけて卒業させる、いわゆる実力主義の教育を行ってきましたが、この方針は、今日に至るまで長い間受け継がれ、伝統と革新のバランスを取りながら、つねに時代の最先端の教育と研究を行ってきました。そして、これまでに約 22 万人の方が本学を卒業し、中学・高校の理数系教員として、あるいは技術者や研究者として、教育、産業、行政など多岐にわたる分野で幅広く活躍しておられます。本日、入学された皆さんが、この素晴らしい理科大ネットワークの仲間となられる事は、大変な喜びであり、皆さんの事を心より歓迎したいと思います。

今我々は、長期ビジョンとして、「世界の未来を拓く TUS(Tokyo University of Science)」となることを目標に掲げています。世界には人類がグローバルに抱えているいくつもの課題がありますが、その解決に向けた様々な分野における最先端の研究を通じて、常に世界の持続的な発展に貢献し、注目され続ける教育研究機関になることを目指しています。

学生の皆さんには本学での教育を通じて、高い専門性と共に、その過程で培われる論理的かつ科学的な思考力や発想力といった、世界のどこにおいても活躍できるような柔軟な応用力を身につけてほしいと考えています。そして、このような多面的な実力を培ってほしいとする皆さんを、本学は常に力強く応援しています。

江戸末期を代表する思想家である吉田松陰の言葉とされるものに、こんな一節があります。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」

物事を成就させるためには、これから自分は何をしていきたいのかという夢や希望を心に思い描き、それを成し遂げるために、まず具体的な理想を目標として掲げ、それを成功させるための工程を計画する。そして、それを一つずつ着実に実行していく、その小さな一歩一歩のステップが重要だということです。

本日、新たに入学を迎えられた皆さんは、まだ自分の夢や目標が定まっていないという人が多いかもしれませんが、是非自分の長所や得意なことから掘り下げて、具体的な目標を決めてみて欲しいと思います。ただ、大学や大学院を卒業することだけを目標とするのではなく、何でもよいので夢中になるものを一つでも見つけ、失敗を恐れずにその実現に向けて挑戦する。万が一、失敗をしたとしても、計画を見直したうえで、何回でも挑戦する、あきらめない勇気が大事です。是非、そのことを忘れずに、研鑽を積んでほしいと思います。

理科大の若き創設者たちが、夢や高い志を胸にその理想に向かって積み重ねた歩みや挑戦が、今日、本邦随一の理工系総合大学として実を結んだように、150周年やその先の未来においても、我々のビジョンがさらに大きな形で達成できるように、学生の皆さんと一緒に夢をもって成長していきたいと考えています。

最後に、皆さんが健康に留意され、かけがえのない人生の1ページとして、有意義で充実した学生生活を過ごされることを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

2024年4月9日
学校法人 東京理科大学
理事長 浜本 隆之